

多峰古峰山 (たっぷこつぷやま) & 瘤山 (こぶやま) 山行記録

支笏火山噴火口の内側を登る

実施日 2025(令和7)年3月8日(土)

メンバー T島(GL)、O山内、S山、S田、N沼 装備:スノーシュー

行程 7:00 岡志別公園→白老 IC~苫小牧中央 IC→8:20 七条大滝駐車場→8:35 登山口→8:50 出発→10:05 Co540m 台地→10:35 多峰古峰山→12:30 瘤山→12:40 昼食 13:00→14:40 登山口

従来の登山口より伊達市よりの登山口から登山開始。周辺は断崖絶壁が表示されている地形である。まず沢を登り、途中から急峻な尾根に取り付く。Co430m 付近で従来の登山道と合流。引き続き急峻な尾根を登り、Co540m 付近の台地に到着。多峰古峰山に登り、平原上の台地を進み瘤山に至るコースであった。

天候は概ね曇りであったが、遠くに樽前山や支笏湖周辺の山々が見え、まずまずであった。

多峰古峰山から瘤山に進行中、道が異なることを進言(この方、ただ者ではない)。ショートカットせずにもと来た道を戻り、事なきを得た。分岐したトレース地点では、方向を確認すべき。

駐車場で『登山靴がない』との叫び。ストック、スキー靴等主たるものを忘れることが多くなってきた我が山岳会。皆さま、出発時には十分な確認と集合時間を間違えない様に。

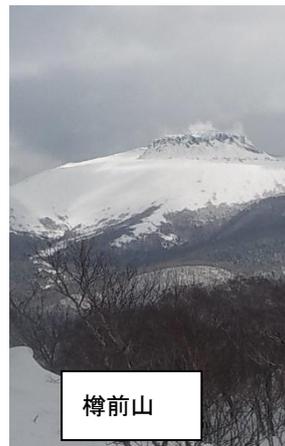
オロフレ峠の道路を走行中、『狐』が左から右へ横断。しかし、右側の雪壁に阻まれ、壁を越せず

『すぐあきらめ』、左側にUターン。神は、生きるモノ全てに壁を与えたことを実感。

一般的に山岳会の敷居は高いと思われているんじゃないかと。しかし、入会者は『会が癒し』や『入会して人生が変わった』など、外と内では大違いだ。そこに追い打ちをかけて『女の涙に騙されるな、女はいつでも涙を流すことができる』と。いやいやどうしたものか……。



多峰古峰山



樽前山



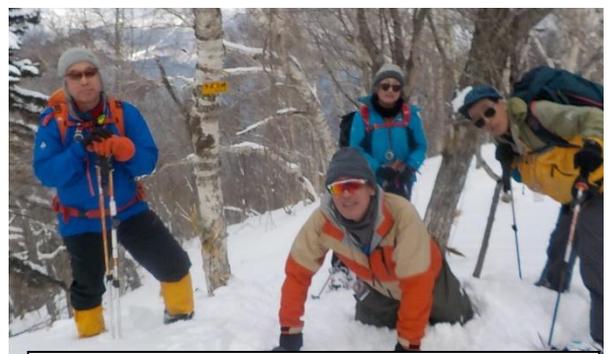
なんとか街靴で対処



足取り 危なげ



転んだ



瘤山で懺悔 お許してください 私が悪かった